

STEADYS

歩行評価およびトレーニングシステム

製造販売届出番号【17B2X10003000037】



- ✓ 歩行障害患者のリハビリ
- ✓ トレッドミルあり/なしの歩行評価
- ✓ オールインワン：
歩行評価とトレーニング
- ✓ 仮想ゲーム環境による
患者のモチベーション
- ✓ 自動トレーニングモードによる
合理化されたワークフロー



Neurosoft-Europe

LEARN
YOU TO WALK

AGA



整形外科、神経、関節、神経筋障害、背部障害、その他の運動性、中枢および末梢神経系障害の患者の多くは、高いリハビリテーションの可能性があります、積極的な治療とリハビリが必要です。

そのような患者の、主なリハビリテーションの目標の1つは歩行の回復です。ここでリハビリテーションの詳細は、変更または失われた歩行機能の回復または補償に基づいています。

バイオフィードバック付きのSTEADYS歩行トレーナー（BFB）は、歩行パラメーターを評価し、取得した個々の測定値を使用して患者中心のリハビリテーションを実行するように設計されています。

STEADYSは歩行障害のある患者が再び歩くことを可能にします。

適用性

神経学

脳卒中後、
脳または脊髄損傷、
多発性硬化症（MS）、
乳児性脳性麻痺（ICP）、
パーキンソン病（PD）
など

外傷、 整形外科など

外傷後、切断者、
下肢関節の人工装具
置換術（関節インプ
ラント）、
脊柱側弯症手術など

血管学

下肢の血管疾患の
閉塞

老人病学

転倒リスクを軽減する

STEADYS: スマートでシンプル！

1. IMUセンサー

Neurosens慣性測定ユニット（IMU）センサーは、患者に配置される小型の時計サイズの電子機器です。時間的、空間的、運動学的歩行パラメーターとEMGデータを同時に記録します。

配信セットには3つのセンサーが含まれています。2つは患者のシャンクに配置され、もう1つは患者の背中に固定されて、歩行中の体の動きを記録します。

2. トレッドミル

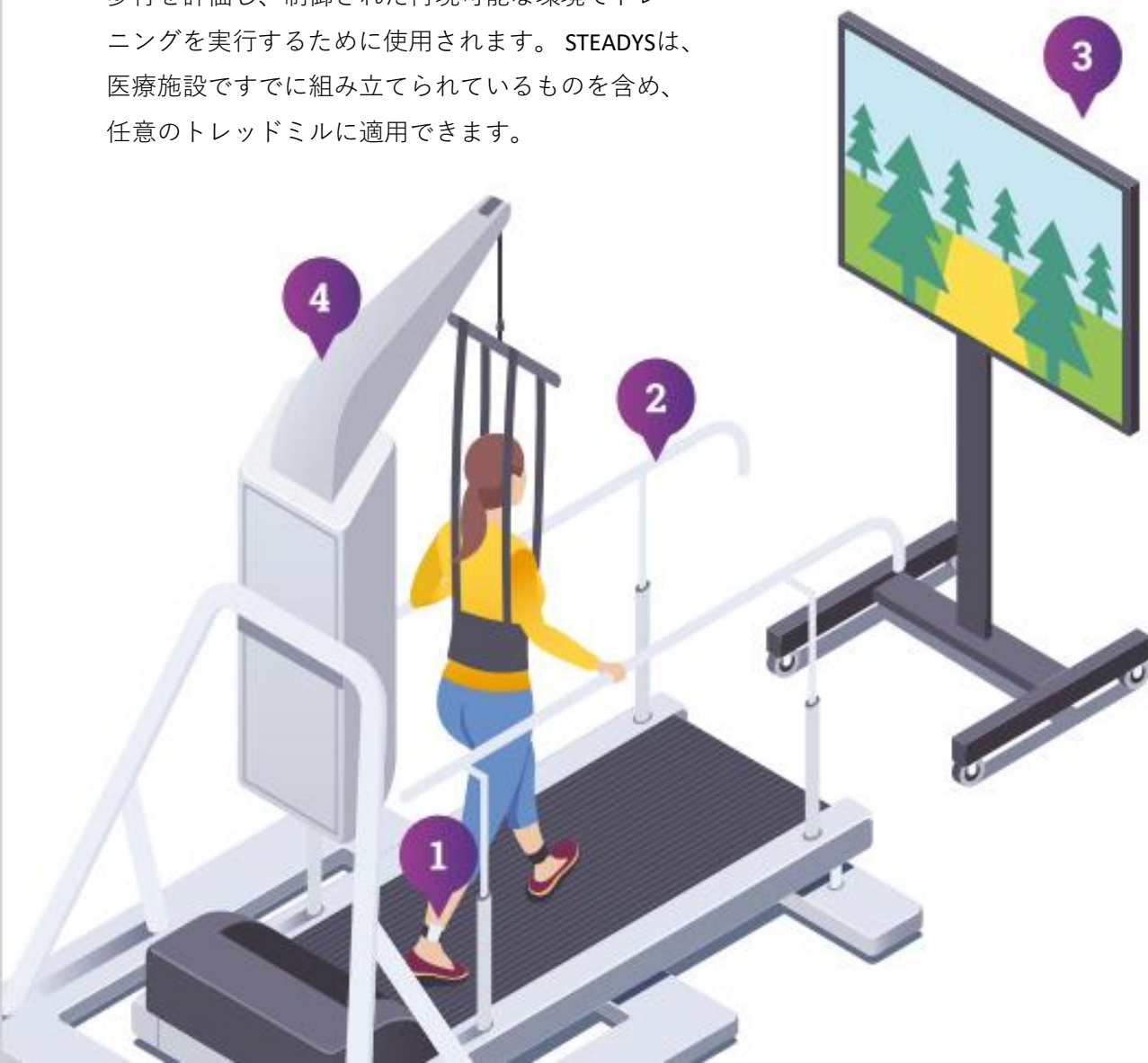
歩行を評価し、制御された再現可能な環境でトレーニングを実行するために使用されます。STEADYSは、医療施設ですでに組み立てられているものを含め、任意のトレッドミルに適用できます。

3. BFB モニター

患者はリアルタイムの視覚および音声フィードバックを受けることができます。

4. 体重サポートシステム

下肢への負荷を軽減し、トレッドミル歩行中に患者が転倒するのを防ぎます。



神経感知センサー： STEADYの心臓

20

歩行パラメータを記録できます

Neurosens IMUセンサーは、3つのデータタイプを取得できます。
3つの軸による加速度、3つの軸による速度（組み込みの3Dジャイロ
スコープと3D加速度計による）、および2つの差動チャンネルを介した
EMG(研究用オプション)です。



オールインワン。
歩行パラメータとEMGの
取得は、1つのIMUセン
サーで行われます。



信号の取得は、周囲の金属
構造の影響を受けません。



コンピューターソフトウェ
アとのデータ交換はWi-Fi
経由で行われます。

FAST

ACCURATE ASSESSMENT



STEADYSは、個々のリハビリプログラムを開発する最初のステップとして、リハビリテーションの過程でリハビリテーションプログラムの効率を分析するために、リハビリ前の歩行パラメータの評価と患者の歩行システムの機能状態の評価を可能にします。

テスト中、患者はいくつかのステップを実行し、ソフトウェアは歩行パラメータを記録し偏差を自動的に検出します。

STEADYSは簡単に使用できます：

1. 歩行パラメータの評価は、トレッドミルなしで行うことができます。患者はあらゆる面を歩くことができます。
2. 試験は通常2分以内に終了します。
3. 歩行評価をリアルタイムで観察し、必要に応じて完了または再開できます。

EFFICIENT

REHABILITATION

リハビリ設定でSTEADYは、歩行パラメータをオンラインで評価し、バイオフィードバックを利用してリハビリできます。

高度なソフトウェアは、最も効率的な方法で歩行トレーニングを保証するように設計されています：

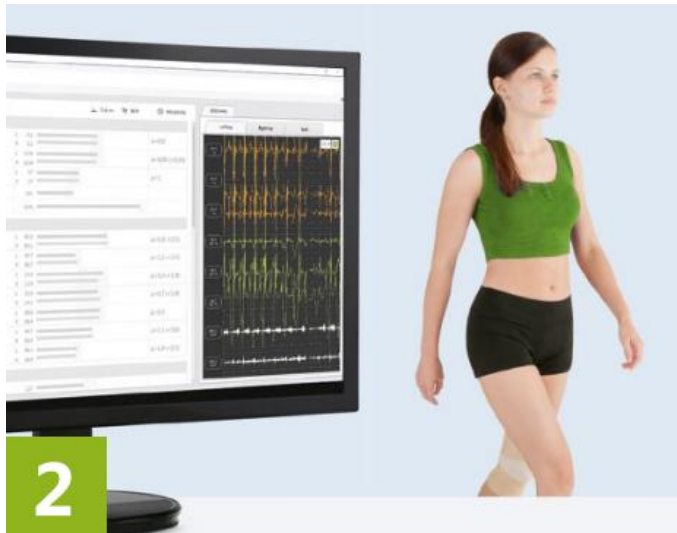
1. バイオフィードバックは、補正する必要がある歩行パラメータのみに基づいています。
2. 手動モードでは、トレーニングタスクの成功度に応じて難易度を管理および変更できます。自動モードでは、トレーニングの難易度は自動的に患者の能力に合わせて調整されます。トレーニングの難易度を自動的に下げ患者の能力に適応するか、タスクが簡単すぎる場合は難易度を上げます。



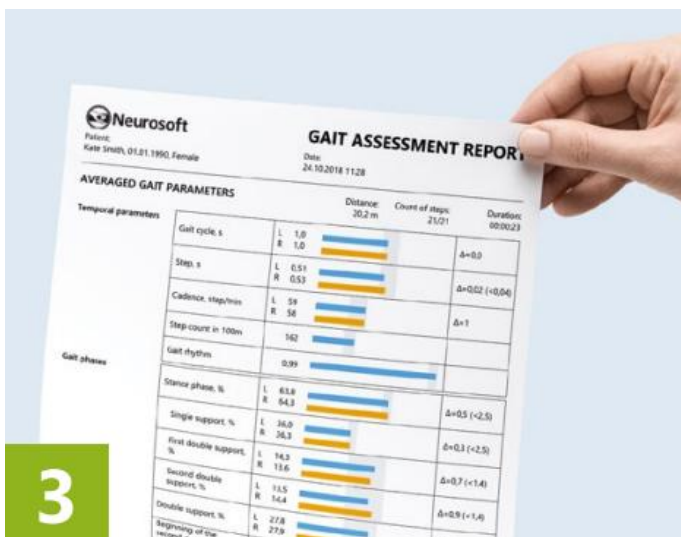
歩行評価の 3つのステップ



IMUセンサーを患者に配置し、EMG電極 (研究用オプション)を配置します。ソフトウェアを実行し、患者のデータを入力します。



歩行パラメータを評価するには、患者にいくつかの手順を実行するように依頼します。その時点でソフトウェアは歩行パラメータを記録し、それらを基準値と比較して異常値を強調表示します。



評価が完了すると、ソフトウェアは基準値と比較したすべての歩行パラメーターを含むレポートを生成します。

1

歩行パラメータを評価します。

効率的な トレーニングのための 4つのステップ

2



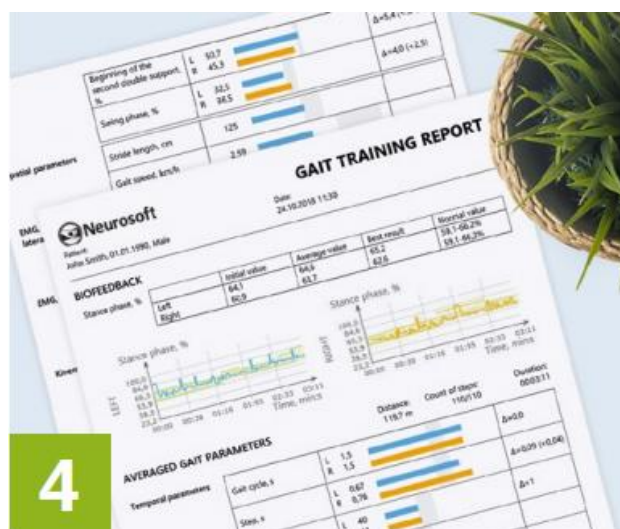
補正する歩行パラメータを選択し、
トレーニングを開始します。

3



トレーニングタスクの成功をチェックし、
必要に応じてタスクの難易度を調整します。

4



トレーニング完了時に、すべての歩行トレーニングデータを含むレポートを生成します。

トレッドミルと体重サポートシステム

STEADYSは、あらゆる医療用トレッドミルや体重サポートシステムと連携できます。すでにご購入いただいている場合は、センサー、電極、ソフトウェアをご用意いたします。まだ取得されていない場合は、提案された構成を選択するか、独自の構成を選択してください。



ロード体重サポートシステム付きトレッドミル

歩行面
150 x 50 cm

速度範囲
0.1 から12 km/h

速度調整ステップ
0.1 km/h



h / p / cosmos体重サポートシステム付きトレッドミル

歩行面
150 x 50 cm

速度範囲
0.1 から12 km/h

速度調整ステップ
0.1 km/h

アクセサリ

充電ステーション

最大6つのセンサーを同時に充電



センサーマウント付きの 弾性ストラップ

デリバリーセットには、センサーマウントと長さ20 cm～1 mの弾性ストラップが含まれており、子供と体格の異なる大人の両方にセンサーをしっかりと固定します。



EMG取得用の電極とケーブル (研究用オプション)

EMG取得用の高品質の使い捨て粘着電極を提供しています。ケーブルの長さは、患者の体質に応じて選択でき、ケーブルの絡まりを防ぎ、信号ノイズを低減します。



Neurosoft-Europe

360 Avenue du Clapier

ZA du Couquiou

84320 ENTRAIGUES SUR LA SORGUE / France

Tél : +33 6 21 39 56 29